【北陸HACCPニュース】 創刊号
平成10年9月11日

HACCP

Hazard Analysis Critical Control Point

「北陸HACCPシステム研究会」企業60社が参加して正式スタート

今年6月より準備委員会を設け進めてきた「北陸HACCPシステム研究会」の設立総会が、9月11日、ホテル日航金沢で開かれ、活動のスタートを切ることになりました。

北陸三県の食品をはじめ関連業界に参加を呼び掛け、現在までに60社を超える参加企業を数えています。

新しい衛生管理の手法であるHACCPは、アメリカやEUではすでに導入が義務づけられており、日本でも、昨年から本格的に導入・普及が始まりましたが、まだまだ各企業の導入体制が整っておらず、企業活動の今後の重要な課題になっています。

こうした状況を踏まえて設立された「北陸HACCPシステム研究会」では、関係機関や専門家の方々の指導を仰ぎながら、HACCPに関する情報の収集と啓蒙、ネットワークの拡がりなどに積極的に取り組んでいくことになります。

9月11日の設立総会では、発会式、役員選出などに引き続き、神奈川大学理学部の横山理雄先生を来賓に迎え、記念講演が行われます。

研究会の目的

産・官・学連携のもと北陸におけるHACCP（危害分析重要管理点）の研究及び会員相互の情報交換、また研修・視察会などを実施するのをはじめ、当地域においてHACCPシステムによる食品の衛生管理および普及に努め、啓蒙活動を幅広く展開することを目的とします。

活動内容

HACCPシステム導入による食品保存・食品包装に関する研究活動

HACCPシステムに関する情報の収集・提供活動

HACCPシステムの国内外にわたる調査・視察団派遣の実施活動

HACCPシステム促進のための人材教育・研修等の推進活動

その他、本会の目的を達成するために必要な活動

記念講演概要

石川県農業短期大学名誉教授／神奈川大学理学部講師
横山　理雄氏

『これからのHACCPはどう動くか』

第1章　HACCPの内外の動き

1. 世界各国でHACCP管理方式が何故とりあげられはじめたのか
   - a. HACCPとは
   - b. アメリカでのHACCPの歴史と現状
   - c. EU・カナダと他の国でのHACCP
2. わが国でのHACCP導入の動き
   - a. HACCP導入の必要性
   - b. EU向け水産食品の禁輸とHACCP
3. 総合衛生管理製造過程での承認制度とHACCP
   - a. 食品衛生法と承認制度の位置づけ
   - b. 承認制度へのHACCPシステムの導入
   - c. 食品工場に対する承認
   - d. HACCP用語の定義

第2章　HACCP導入のポイント

1. HACCPシステムの位置づけは
2. HACCP方式は従来の検査法とはどう違うか
3. 危害に原因物質は
4. HACCPチームの編成はどうしたらよいのか
5. HACCPチームはどのような作業をするのか

第3章　食品関連企業のHACCPへの対応

1. 食品包装関連企業
2. 食品機械関連
3. 食品流通関連

第4章　HACCPの今後の動き

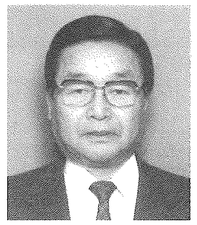
1. 米国での食肉に対する法改正
2. わが国のHACCPの動き

横山（よこやま）　理雄（みちお）氏プロフィール

1932年	愛知県名古屋市に生まれる
1951年	挙母高校(現 豊田西高校)を経て、桜台高校卒業
1957年	京都大学農学部水産学科卒業
1977年	農学博士(京都大学)
1960年～93年	呉羽化学工業(株)にて食品包装の研究に従事し、同社食品研究所長を務める
1993年	同社退社
同　年	石川県農業短期大学食品科学科教授
1998年	定年退官　石川県農業短期大学名誉教授
現　在	神奈川大学理学部非常勤講師、食品産業戦略研究所総括研究員

発会に寄せて

研究会の発足を祝って



石川県農業短期大学名誉教授
神奈川大学理学部講師
横山 理雄氏
Michio Yokoyama

このたびの北陸HACCPシステム研究会が発足したことを心よりお慶び申し上げます。

PL法の施行とともに、食品中への異物混入と食品の微生物による腐敗変敗・食中毒に細心の注意が払われてきています。

特に、腸管出血性大腸菌O－157などによる食中毒が発生して以来、食品に生育する微生物の洗浄殺菌と食品包装による品質保全に力が入れられ、食品を製造する工場では、HACCP方式による自主衛生管理システムが導入されてきています。

このHACCP方式は、アメリカのNASAの宇宙食の開発に使われた手法ですが、今や、世界各国では、食品衛生管理の手法として使われています。しかし、実際にこのシステムを食品工場へ導入するとき、専門用語、導入の手順、重要管理点（CCP）の設定など難しい点が多くあります。

わが国では、厚生省が食品衛生法を改正して、乳・乳製品、食肉・食肉製品、魚肉ねり製品やレトルト食品に対してHACCP手法をとり入れた「総合衛生管理製造課程の承認制度」を法律化しました。これからも、2～3の食品について法律化する予定です。

このようなとき、伝統食品など古い歴史をもっている北陸地区でHACCP研究会が動きだすことは画期的なことです。このような研究会は、日本では初めてのことではないでしょうか。成功をお祈りいたします。

北陸HACCPシステム研究会への期待

石川県農業短期大学
食品科学科教授
矢野 俊博氏
Toshihiro Yano

食品を取り巻く環境は、近年大きく変化してきています。一つは品質保持期限、PL法、総合衛生管理製造過程の承認制度の導入等の法的なもので、もう一つは病原性大腸菌O－157やクリプトスポリジウムなどに代表される食中毒原因菌の多様化です。その結果、食の危機管理、すなわち食の安全性を確立することが最重要課題になってきています。

HACCP方式は、100％安全な食品を製造するために開発された科学的・合理的な衛生管理方式であり、これを食品工場の自主衛生管理方式として活用することは、常に安全な食品を製造することにつながります。それゆえ近い将来、多くの食品産業分野にこの方式が広く浸透するとともに、高度な品質保持技術も要求されるようになると考えられます。

このたび設立された北陸HACCPシステム研究会には、食品製造企業以外に、食品に関連する各種企業の方々が参加されます。したがって本会ではお互いにHACCP方式について勉強し、安全な食品の製造を目指すのみでなく、同種企業間あるいは異種企業間の情報交換、共同開発等が可能になるものと期待しております。

研究会の更なる発展に向けて

北陸農政局長
中島 治郎氏
Jiro Nakajima

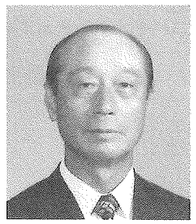
このたび、北陸HACCPシステム研究会が誕生されましたことを心からお喜び申し上げます。

当研究会に参加されました関係者の皆様方には、日頃から農林水産行政の推進に当たって、格別の御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げる次第でございます。

我が国では、食品の製造過程において、食品に起因する衛生上の危害の発生の防止と適正な品質の確保を図るため、その管理の高度化を促進する措置を講じ、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、食品の製造又は加工の事業の健全な発展に資することを目的に臨時措置法を制定したところであり、資金、税制の両面にわたり支援が受けられることとなりました。今後とも、関係者の皆様の声を真摯に受け止め、新しい時代に向けた取組を続けていく所存であります。

関係者の皆様におかれましても、様々な克服すべき課題があろうかと存じますが、HACCPシステム研究会の更なる発展に向けて一層の御尽力をお願い申し上げますとともに、会員各位の益々の御発展を心から祈念いたしまして、この紙面を飾らせていただきます。

『北陸HACCPシステム研究会』設立に寄せて



澁谷工業株式会社
取締役社長
澁谷 弘利氏
Hirotoshi Shibuya

HACCPは食品の生産・加工プロセスにおいてO－157のように食品の安全性に重大な危害を与える原因を科学的にコントロールする手法として注目されております。

このHACCPは、国連食糧農業機関（FAO）と世界保健機関（WHO）が合同で設立した、FAO／WHO合同食品企画委員会（コーデックス）で、『HACCP適用のガイドライン』を1993年に採択したことから、主要先進各国が、導入に積極的に取り組んでいます。

わが国でも、平成7年に食品衛生法が改正され『総合衛生管理製造過程による食品の製造等の承認制度』（HACCP承認制度）が導入され、平成10年1月にその第一号が承認されました。

しかし、HACCPの導入にはまだまだ多くの課題や問題が山積しているのが現状です。この度、HACCPで指導的役割を果たしておられる横山先生を囲み、北陸地域を対象として、産・官・学が連携し、また食品加工業界ばかりでなく食品機械、薬品・薬剤、計測・分析、さらには建設等の関連分野の賛同と参加を得て“北陸HACCPシステム研究会”が設立されることは極めて意義深いことです。

この研究会の各種事業を通じて多くのHACCP承認企業が誕生し、高品質の北陸の食品産業として成長を遂げ、さらには異業種交流の機会から、またHACCPによる製造方法の多様化・弾力化から新製品・新事業の誕生につながるものと期待しております。

北陸HACCPシステム研究会会員名簿 (五十音順) 1998年9月7日現在

●会社名

富山県	アサダ食品総業株式会社
	アルビス株式会社
	有限会社大井微生物研究所
	清水　仁司
	徳永食品株式会社
	株式会社富山ホーム食品
	並木薬品株式会社
	日本海味噌醤油株式会社
	丸三製薬株式会社
	八尾キタノ製作株式会社
	株式会社ユニオンランチ
	四方蒲鉾株式会社

福井県	赤羽義章
	上田修志
	友吉俊幸
	日本酪農協同株式会社 福井工場
	株式会社ふじや食品

石川県	株式会社浅田屋
	アドニス株式会社
	アマノ株式会社金沢支店
	イカリ消毒株式会社 北陸営業所
	石川県農業短期大学 食品科学科
	財団法人石川県予防医学協会
	株式会社エスアールエル北陸
	ＮＴＴ金沢病院
	カサマツ明希株式会社
	カナカン株式会社 日配商品本部
	金沢フード株式会社
	木田威俊
	株式会社木村経営ブレーン
	極東製薬工業株式会社 大阪営業所
	ケンコー食品株式会社
	小嶋基久
	小竹博志
	澁谷工業株式会社
	清水建設株式会社北陸支店
	生活協同組合連合会 コープ北陸事業連合
	大和ハウス工業株式会社 金沢支店

石川県	株式会社高井製作所
	佃食品株式会社
	円谷清司
	天狗中田産業株式会社
	テンダーフーズ株式会社
	中村正紀法律事務所
	株式会社日本リース金沢支店
	農林漁業金融公庫北陸支店
	株式会社ハチバン
	羽二重豆腐株式会社
	日立プラント建設株式会社 北陸営業所
	株式会社 ファルコバイオシステムズ北陸
	プリマハム株式会社北陸支店
	北陸ミサワホーム 株式会社
	株式会社北國新聞社
	株式会社堀工務店
	三谷産業株式会社
	三谷産業コンストラクション・ プロダクツ株式会社
	山本晴一
	株式会社横山商会
	ライターハウス

北陸HACCPシステム研究会事務局　〒920-0217　石川県金沢市近岡町309番地　ファルコバイオシステムズ北陸
TEL 076-237-4230(代)　FAX 076-237-4297